

「下肢閉塞性動脈硬化症(PTAあり)」入院診療計画書

&tagPatName& 様

特別な栄養管理の必要性 (有 ・ **無**)

主治医: &tagPatOrdDoc& 担当看護師:

患者様サイン欄:

経過	入院時及び検査当日(検査前)	検査当日(検査後)	退院時
治療について (手術日・退院日など)	入院 午前中もしくは午後手術があります。	* 透析患者様の場合、医師の指示で治療後に透析になる場合があります。	
安静度・リハビリについて	病棟内を自由に歩くことができます。 	針を刺した側の足は、4時間から5時間のベッド上安静です。 * 足の安静が守れない場合は、紐で固定する事があります。	消毒の後は、自由に歩く事ができます。
食事について	午前に検査がある場合は、朝食が食べられません。 午後に検査がある場合は、昼食が食べられません。 * 水分は控えめにして下さい。 * カフェインを含む飲食はできません。(コーヒー・緑茶・紅茶など) 病棟で配られるお茶は飲めます。 	手術終了後は造影剤を体外へ早く出す為に、水分を多く摂ってください。 * 透析患者様は、医師の指示・今まで通りの水分量で結構です。 手術終了後異常がなければ、寝たままの食事ができます。 検査終了後からカフェインを含む飲食ができます。	食事は朝まで出ます。 * 希望にて昼まで出ますが、基本的には午前中退院です。
薬剤について (点滴・内服など)	内服のお薬は指示がない限り、今まで通り飲んで下さい。 点滴を行います。 	医師の指示で点滴は終了です。	薬剤師から退院後の薬の内容と管理について話があります。 
検査について	採血、胸部レントゲン、心電図の検査があります。 (ただし前回、外来受診時に行っている場合は不要です。) 	①医師の指示がない限り、特に検査はありません。 * 検査がある場合、治療の評価目的で、四肢の血圧測定等があります。	
処置について (ガーゼの交換など)	身長・体重を測ります。 針を刺す部分を確認してお知らせします。 手と足の動脈がよく触れるか確認して印をつけます。 	適宜、血圧・脈拍・体温を測り、手と足の動脈を確認します。 針を刺した部分を確認します。 	起床後、針を刺した部分を消毒します。 
清潔について (シャワー・入浴など)	毛を剃ったときは、看護師が蒸しタオルで体を拭きます。 爪を切り、マニキュアは取って下さい。 T字帯(ふんどし)をつけ浴衣式の病衣に着替えてお待ち下さい。 		バルーンカテーテルを抜いた後、初回排尿を確認します。
排泄について	バルーンカテーテル挿入前は、歩いてトイレに行くことができます。 検査前にバルーンカテーテルを挿入します 	バルーンカテーテルが挿入されています。	バルーンカテーテルを抜いた後、歩いてトイレへ行けます。 
患者さん及びご家族への説明	看護師から病棟のご案内と治療・検査について説明します。 カテーテル室入室の前に必ず、眼鏡・コンタクト・時計・指輪・ヘアピン・入れ歯は外して下さい。 ※不明な点がありましたら、看護師に声をかけて下さい。	検査後もしくは退院前に、医師から検査結果について説明があります。 看護師より退院後の生活について話があります。	

注1) 病名等は、現時点で考えられるものですので、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2) 入院期間、表記の日時については現時点での予定です。

注3) ご質問等ございましたら、お気軽にスタッフまで声をかけて下さい。